

令和4年度 学校だより

中福良小ブログ

令和4年11月 2日

なかふくら

～花と作文とあいさつの学校～



南九州市立中福良小学校

伝統芸能を次の世代に伝えることの難しさ① ～ソラヨイについて～

校長 折田 明世

7月号に書いたように、「まちづくり大相撲」に応募しました。そして、20万円をいただき、迫瀬戸山の棒踊りとソラヨイに使わせていただきました。

ソラヨイは、令和元年度に復活して、4年目です。

復活させるとき、子どもたちに、「はだかは寒いから、したくない。」と言われました。旧暦なので、10月に行われる年もあり、その年は特にそうなります。そこで、全ての自治会長さんに集まっていたいて、「子どもたちは寒いと言うが、体育服の上に装束をつけてもいいだろうか。」と聞きました。そして、「時代の流れだから、仕方がない。」という結論に至りました。そして、人数が少ないため、男女で行うということも。

だんだんソラヨイに参加する子どもが増えてきたので、昔の方式に寄せたいと考えました。そこで、令和3年度は、

「昔からソラヨイに親しんでいる方々は、やはり昔のやりかたで踊ってほしいと思っているんだよ。だから、できれば、今年は上半身裸で。そして、来年度はさらしを巻いて踊ってほしい。」

と、子どもたちにお願ひしました。

そして、令和4年度。さらしを準備しました。

しかし、ここで、意外なことになりました。子どもたちが、「さらしを巻くのが恥ずかしい。(おしりが見えるから。はだかになるから。)」と言ったのです。

大人からみれば、上半身はだかで体育ズボンの上から装束をつけてもさらしの上から装束をつけても大して変わらないと思いますが、子どもにとっては大問題でした。

当日は、中学生が恥ずかしいながらもつけてくれたので、小学生も、続いてくれました。また、今年から、ソラヨイは男子だけで行い、相撲は全員で行うということにしました。綱引きは、会場の方々全員です。

これで、昔ながらのソラヨイに戻すことができました。

中学生の統率力と責任感。感謝しています。

私たちは、次代の人々のために、今の文化をしっかりと継承していく責務がある。

ということなので、伝統文化の継承に尽力してきました。しかし、ソラヨイも棒踊りも、踊り手の不足という問題は深刻です。それぞれの集落でできなくなったので校区全体で一つの踊りとしましたが、今後、全校児童の男子全員でも5名前後という時代がきます。しかし、児童数減は、私たちにはどうすることもできません。

そのことを嘆くのではなく、“可能な限り長く存続させることが大切”なのではないかなとつくづく感じます。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間



現在、開催中しております。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当初予定していた内容で取り組むことができませんでしたが、お待ちしております。※写真は昨年のもです。

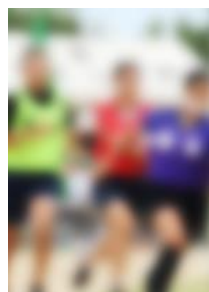
来る11月6日(日)には学習発表会が実施されます。今年度も学校単独の開催となりましたが、各学年工夫を凝らしたこれまでの学習の成果を発表いたします。引き続き参加者制限などの感染症対策へのご理解とご協力もよろしくお願いいたします。



もうすぐ学習発表会



1・2年生はいも掘りを行いました。今回のいもを使って来月には料理を行います。どんな料理をするかとても楽しみです。



3年ぶりに市民体育大会では実施され、リレーやディスクゴルフ、玉入れに参加しました。地区民の団結を感じる大会となりました。

◆12月の主な行事予定◆

| | | |
|----|---|--|
| 1 | 木 | 持久走大会②(予備5日) 学級PTA 人権旬間(～10日) |
| 2 | 金 | 人権教室②③ |
| 10 | 土 | いも料理作り①～③(1・2年) 家庭教育学級人権学習(1・2年保護者) |
| 15 | 木 | 掃除週間(～22日) |
| 23 | 金 | 2学期終業式 <u>※給食あり</u> |

令和5年1月10日(火) 3学期始業式

子どもたちの輝き

県作文コンクール市審査会

特選 1年 2年
3年 5年
6年
入選 4年

理科作品審査会

特選 3年